



うみ こ

2019湖っ子食育大賞

大賞は、高島市立今津東小学校に決定！

滋賀県教育委員会では、児童生徒が正しい食事のとり方や望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校を中心に家庭・地域とも連携した食育を推進しています。

平成19年度に学校や園の特色を生かした優秀な食育の取組を表彰する「湖っ子食育大賞」が創設され、令和元年度は13年目となり、県内の学校・園から10校園の応募がありました。審査の結果、大賞は特別テーマ部門「朝食摂取率向上や欠食率減少に向けた取組」に応募された「高島市立今津東小学校」に決定しました。

～受賞校の概要～

大賞

高島市立今津東小学校

『よりよい朝ごはんを食べよう～3つのスイッチを入れよう～』をテーマに、今津中学校区の小学校や中学校、家庭や地域全体で朝食の大切さを知らせる取組を継続して行っておられます。朝食の効果や覚えやすいように「3つのスイッチ」をキーワードにし、それぞれの学年にあわせた食育の授業や今津食育週間を実施されています。また、オープンスクールや校区学校保健委員会の開催、食育だよりの発行、朝食レシピの持ち帰りなどで家庭や地域の方への食についての啓発も行われています。

学級担任と栄養教諭や養護教諭による食に関する指導の様子



朝食の効果や簡単に作れる朝食レシピを置いた工夫された掲示コーナー



優 秀 賞

長浜市立速水小学校

『主体的に望ましい食生活を送ることができる児童の育成をめざして』をテーマに、食に関する指導の全体計画に基づき、学級担任や栄養教諭らによる教科等における系統的・継続的な食育の推進が行われています。

6年間学習した食に関するプリントを一人1冊「食育ファイル」に綴じ込み、学んだことを振り返ることができるように工夫されています。また、生活リズムの定着を図るため、家庭の協力を得ながら生活リズム調べにも取り組んでおられます。

東近江市立能登川西小学校

学校教育目標である「郷土を愛し 心豊かでたくましい子の育成」をめざして『伝統的な食文化に対する関心と理解の増進』をテーマに、全校児童での食育に取り組みました。

自分たちの住む地域の特色や歴史を学校や地域の方々から学び、地域の伝統食を取り入れた食育を進めておられます。地域の自然環境に根差した食を学び体験することや、地域の人々および学校栄養職員との連携で、食材や食事の大切さなど食への関心を高める取組を多く実践されています。

日野町立日野小学校

『生産者とのふれあいを持ち、地場産物を活用した調理体験などの食育の取組』をテーマに、食に関する指導の全体計画と年間指導計画に基づき、栄養教諭を中核とした食育の推進が継続して行われています。

地域の方々との交流と地場産物を活用した体験学習、スクール農園での栽培と調理、食べるという一連の食育活動が行われています。例えば5年生では、琵琶湖のシジミについての学習やみそ汁の調理実習時にあわせて、日野碗の歴史について学ぶなど地域と連携した取組が行われ、食文化への理解へとつなげた取組を実践されています。

食育大賞および優秀賞を受賞されました4校には、記念品としてお祝いの焼き海苔をイメージして作られた信楽焼の盾を贈呈しました。

〈 湖っ子食育大賞 支援・協力 〉

公益財団法人 滋賀県学校給食会（副賞・表彰記念品制作）

県立信楽高等学校（表彰記念品制作）

